大学入試
実戦国語
漢文・思想

見本

漢文

思想

基礎問題

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（設問の都合で返り点、送り仮名を省いた部分がある。）（大谷大・文）

解答・解説⇩別冊164ページ

＊伯兪有レ過、其母笞レ之、a泣。其母曰、使痛。是以泣。（「説苑」）

他日笞レ子、b未嘗見泣。今泣c何也。対曰、他日兪＊得レ罪、笞常痛。今母之力d不能

＊伯兪＝姓は韓、前漢時代の人。　得レ罪＝叱責を受けるの意。

問一　傍線部aの理由としてイ～ニのうち、最も適当なものを選び、記号で答えよ。

イ　母の笞にいつもとは違った強い痛みを感じたから。

ロ　母の笞に本当の愛情をはじめて感じたから。

ハ　母の笞に力の衰えを感じたから。

ニ　母の笞に感情的な苛立ちを感じたから。

問二　傍線部bは「未だ嘗て泣くを見ず。」と読む。これを参考にして、返り点を施せ。（送り仮名は不要）

問三　傍線部cを現代語に訳せ。

問四　傍線部dの書き下し文として最も適当なものをイ～ニから選び、記号で答えよ。

イ　いたみをつかふあたはず。　　ロ　いたからしむるあたはず。

ハ　あたはざればいたからしむ。　　ニ　つかふあたはずしていたし。

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（設問の関係から、送り仮名を省略した部分がある。）（岩手大）

解答・解説⇩別冊165ページ

孟子曰、仁之勝不仁也、(1)猶水勝火。今之為仁者、(2)猶以一杯水救一車薪之火也。不*熄則謂之水不勝火。此又(3)与於不仁之甚者也。亦(4)終必*亡而已矣。（「孟子」）

*熄＝火が消える。　亡＝少しばかりの仁をも失ってしまう。

問一　傍線部(1)「猶水勝火。」を、すべて平仮名・現代仮名遣いを用いて書き下せ。

問二　傍線部(2)「猶以一杯水救一車薪之火也。」を分かりやすく口語訳せよ。

問三　傍線部(3)「与」、(4)「終」の読み方を、それぞれ送り仮名を含めて、すべて平仮名・現代仮名遣いを用いて記せ。

次の『孟子』梁恵王下篇の一節を読んで、後の問いに答えよ。（南山大・文）

解答・解説⇩別冊166ページ

(1)孟子謂斉宣王曰、王之臣有託其妻子於其友而①之楚(2)遊者。比其反也、則*凍餒其妻子、則如之何。王曰、棄a之。曰、*士師不能(3)治士、則如之何。王曰、已b之。曰、(4)四境之内②不治則如之何。王顧左右而(5)言他。

*凍餒＝凍え飢えさせる。　士師＝司法官、裁判官。

問一　傍線部(1)の「孟子」と最も関係が深いと思われる思想を次の中から一つ選び、記号で答えよ。

イ　兼愛説　ロ　性悪説　ハ　性善説　ニ　陰陽説

問二　傍線部(1)の「孟子」と同時期に活躍した人物を次の中から一人選び、記号で答えよ。

イ　荘子　ロ　孔子　ハ　司馬遷　ニ　陶淵明

問三　傍線部(2)の「遊」とは異なる意味で使われている「遊」の字を含む語を次の中から一つ選び、記号で答えよ。

イ　遊説　ロ　遊蕩　ハ　遊学　ニ　遊牧

問四　傍線部(3)の「治レ士」の意味として最も適当と思われるものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

イ　士分の人を裁く。　ロ　王の支配下にある官僚たちに威を揮う。
ハ　部下を統率して職務を遂行する。　ニ　知識人にふさわしい学問を身につける。

問五　傍線部(4)の「四境之内」の意味として最も適当と思われるものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

イ　城避に囲まれた国都　ロ　天下
ハ　領地内　ニ　四方の異民族が支配している土地

問六　傍線部(5)の「言レ他」の意味として最も適当と思われるものを次の中から一つ選び、記号で答えよ。

イ　話題を転じてごまかした。　ロ　臣下をとがめてその罪を責めた。
ハ　他国のこととして論じた。　ニ　誤解にもとづいて答えた。

問七　波線部①の「之レ楚」、②の「不レ治」の読み方を平仮名のみで書け。

問八 波線部aの「之」、bの「之」の指すものを本文中から抜き出して答えよ。

標準問題

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（但し、問いの都合で返り点・送り仮名を省いた部分がある。）（国学院大）

解答・解説⇩別冊167ページ

凡賢人之徳有以知之也。伯牙鼓琴、為鼓琴者。B非独琴若此也。賢者［②］然。雖有賢者、而無礼以接之、賢奚由尽忠。猶御之不善、＊驥不自千里也。（「呂氏春秋」）

＊巍巍乎＝山の頂のそびえるさま。　湯湯乎＝水のいきおいよく流れるさま。　驥＝一日に千里を走る馬。

鍾子期聴之。方鼓琴而志在太山。鍾子期曰、「善哉乎鼓琴、＊巍巍乎［①］太山。」少選之間、而志在流水。鍾子期又曰、「善哉乎鼓琴、＊湯湯乎［①］流水。」伯牙所念、鍾子期必得之。鍾子期死、伯牙破琴絶絃、（a）A以為世無足復

問一　空欄①・②に入れるのに最もふさわしい語を、次のイ～ホの中からそれぞれ一つずつ選べ。

イ　若　　ロ　与　　ハ　以　　ニ　亦　　ホ　復

問二　空欄aの中には「生涯、二度と琴をひかなかった」の意味の文が入る。その原文として最もふさわしいものを、次のイ～ホの中から一つ選べ。

イ　終身復琴不鼓　　ロ　終身不復鼓琴　　ハ　不鼓復終身琴

ニ　不終身鼓復琴　　ホ　終身復不鼓琴

問三　傍線部Aの読みを、送り仮名も含めて平仮名（現代仮名遣い）で記せ。

問四　傍線部Bは「独り琴のみ此くのごとくなるに非ざるなり」と読む。この読みに従って原文に返り点を施せ。

問五　本文の内容として最もふさわしいものを、次のイ～チの中から二つ選べ。

イ　賢人の徳は、物事をよく知ることによって備わる。

ロ　賢人の徳は、賢人に知られることによって生じる。
ハ　賢人の徳は、物事をよく知っている点にある。
ニ　伯牙は、いつも鍾子期の心を察して琴をひいた。
ホ　鍾子期は、いつも伯牙を賢者としてもてなした。
ヘ　伯牙は、鍾子期が死んでもはや琴の名人はいないと思った。
ト　伯牙は、鍾子期が死んで後は琴をひくのをやめた。
チ　伯牙は、琴を破って鍾子期の死をいたみ悲しんだ。

問六　伯牙と鍾子期との故事に最もつながりのある成語を、次のイ～ホの中から一つ選べ。

イ　漱石枕流　　ロ　琴瑟相和　　ハ　流石
ニ　知音　　ホ　温故知新

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（立命館大・法）

[　　]

＊曾皙嗜ニ＊羊棗一而(ア)＊曾子不レ忍レ食ニ羊棗一。＊公孫丑問曰、＊膾炙与ニ羊棗一(イ)孰美。孟子曰、膾炙哉。公孫丑曰、然則曾子(ウ)何為食膾炙而不食羊棗。曰、(エ)膾炙所レ同也、羊棗所レ独也。諱レ[A]不レ諱レ[B]姓所レ同也、名所レ独也。（「孟子」）

＊曾皙＝曾子の父。　羊棗＝なつめの一種。　曾子＝孔子の門人曾参。孝行者として有名で、『孝経』はその著とされている。　公孫丑＝孟子の門人。　膾炙＝なますとあぶり肉。ともに美味で人が賞味するもの。

解答・解説⇩別冊168ページ

問一　傍線部(ア)「曾子不レ忍レ食ニ羊棗一」とあるが、どうして食べるに忍びなかったのか。その理由を十五字以内で書け。

問二　傍線部(イ)の「孰」の読み方を送り仮名も付けて、平仮名で書け。

問三　傍線部(ウ)の「何為食膾炙而不食羊棗」の書き下し文として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

イ　何の為に膾炙を食うて羊棗を食はざらん
ロ　何ぞ膾炙を食ふ為なれば羊棗を食はざる
ハ　何為れぞ膾炙を食うて羊棗を食はざる
ニ　何ぞ膾炙を食うて羊棗を食はざると為す
ホ　何為れぞ膾炙を食へば、羊棗も食はざる
ヘ　何ぞ膾炙を食ふを為して羊棗を食はざる

問四　傍線部(エ)の「膾炙所レ同也」の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えよ。

イ　膾や焼き肉は、ほとんど同じ味であるが
ロ　膾や焼き肉は、だれでも好むものであるが
ハ　膾や焼き肉は、父子ともに好きだったが
ニ　膾や焼き肉は、同じく肉を使った食物であるが
ホ　膾や焼き肉は、ともに美味なものであるが

ヘ　膾や焼き肉は、同じく諱むべきものであるが

問五　空欄A・Bに入れるのに、最も適当と思われることばをそれぞれ次の中から選び、記号で答えよ。

イ　羊　　ロ　棗　　ハ　膾　　ニ　炙

ホ　姓　　ヘ　名　　ト　同　　チ　独

6

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（立命館大・文）

＊魏顆敗＊秦師于＊輔氏。獲杜回、秦之＊力人也。［A］＊魏武子有＊嬖妾、無子。武子疾。命顆曰、必嫁之。＊疾病則曰、必以為＊殉。及卒、顆嫁之。曰、疾病則乱。吾従其治也。及輔氏之役、顆見老人結草以亢杜回。杜回躓而顛、故獲之。夜夢(ア)之、曰、余而所嫁婦人之父也。爾用(イ)先人之(ウ)治命。余是以(エ)報。（「春秋」）

＊魏顆＝春秋時代の晋の人。　秦師＝秦の軍隊。　輔氏＝晋の地。
力人＝力持ち。　魏武子＝魏顆の父。　嬖妾＝気に入りの側室。
疾病＝病気が重い。　殉＝殉死。

解答・解説⇩別冊169ページ

問一　空欄Aに入れるのに、最も適当と思われるものを次の中から選び、記号で答えよ。

イ　夫　　ロ　予　　ハ　固　　ニ　時　　ホ　初

問二　傍線部(ア)の「之」、(イ)の「先人」とは、それぞれ誰をさしているか。最も適当と思われるものを次の中から選び、記号で答えよ。

イ　魏顆　　ロ　杜回　　ハ　力人　　ニ　魏武子　　ホ　嬖妾　　ヘ　老人

問三　傍線部(ウ)の「治命」の意味として、最も適当と思われるものを次の中から選び、記号で答えよ。

イ　気持ちを静めるための言葉　　ロ　一家を治めるための命令
ハ　判断が正常な時の言い付け　　ニ　病気がよくなったときの誓い
ホ　病気を治すための教え

問四　傍線部(エ)の「報」の意味を十字以内で書け。

7

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（必要に応じて返り点・送り仮名を省いたところがある。）（中央大・法）

解答・別冊170ページ

*定公問、(1)一言而可以興邦、有諸。孔子対曰、*言不可以若是其幾也。人之言曰、(2)為君難、為臣不易。如知為君之難也、(3)不幾乎一言而興邦乎。曰、一言而喪邦、有諸。孔子対曰、言不可以若是其幾也。人之言曰、予無樂乎為君、(4)唯其言而莫予違也。(5)如其善而莫之違也、不亦善乎。如不善而莫之違也、不幾乎一言而喪邦乎。

（「論語」）

*定公＝魯の君主の名。言不レ可ニ以若レ是其幾也＝言葉というものはそういうわけにはまいりませんが、それに近いものならあります。○対―対　為―為　樂―楽

問一 傍線部(1)の部分の解釈として最も適当なものを左の中から選び、記号で答えよ。

イ ひと言を唱えただけで国を隆盛にすることができる、そうした不思議な力を備えた呪文はないものか？

ロ ひと言を君主に守らせるだけで国を隆盛にすることができる、そうした重宝な言葉はないものか？

ハ ひと言を臣下に守らせるだけで国を隆盛にすることができる、そうした優れた格言はないものか？

ニ ひと言を守るだけで国を隆盛にすることができる、そうした便利な金言のようなものはないか？

問二 傍線部(2)の部分を読み下し文に直せ。（すべて仮名で書くこと。）

問三 傍線部(3)の部分は「一言ニシテ邦ヲ興スニ幾カラズヤ」と読む。この読み方に従って、原文に返り点を付けよ。（送り仮名は不要。）

問四 傍線部(4)の部分の解釈として最も適当なものを左の中から選び、記号で答えよ。

イ ただ私がものを言うと、誰もそれに反対するものがないのは楽しい。

ロ ただ私がものを言うと、誰も反論してくれないのは面白くない。

ハ ただ私が間違ったことを言っても、誰も反対できないのは楽しい。

ニ ただこれまで私が言ったことで、その通りにならなかったことは一つもない。

問五　傍線部(5)の部分の解釈として最も適当なものを左の中から選び、記号で答えよ。

イ　君主の言われるのが正しくても、反論する者が一人もいなければ、やはり良くない結果になるでしょう。

ロ　君主の言われることが間違っていないのに、反対するものがいるなら、それはやはり良くないことではないか。

ハ　君主の言われることが正しくて、すべてそのとおりになるなら、それも大変良いことではありませんか。

ニ　君主の言われることが正しくて、それに反対する者がいないのなら、それも大変良いことではありませんか。

8

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。（東京大）

＊楊誠斎夫人羅氏、嘗於郡＊圃種＊紵、躬＊紡績以為衣。時年蓋八十余矣。其子＊東山、月俸分以奉母。夫人惚小疾。既癒、出所積＊券曰、「此長物也。自吾積此、意不楽、果致疾。今宜悉以謝医、則吾無事矣。」生四子三女、悉自乳。曰、「飢人之子、以哺吾子、是誠何心哉。」誠斎父子、視金玉如糞土。

（「鶴林玉露」）

＊楊誠斎＝名は万里。南宋の詩人。　圃＝はたけ。　紵＝麻の一種。
紡績＝つむぐ。　東山＝楊東山。このとき地方官として遠地に赴任していた。　券＝為替。

問一　夫人は、自分が病気になった原因がどういうことにあると考えているか。

問二　傍線部「吾無レ事矣」とは、どういうことか。具体的に説明せよ。

問三　傍線部「飢二人之子一、以哺二吾子一」とは、どうすることか。簡潔に説明せよ。

問四　傍線部「視二金玉一如二糞土一」とは、どういう精神・態度を表しているか。本文全体を踏まえて、簡潔に記せ。

解答・解説⇩別冊172ページ

発展問題

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（必要に応じて返り点・送り仮名を省いたところがある。）（中央大・法）

子張問於孔子曰、(1)何如斯可以従政矣。子曰、尊五美、屏四悪、斯可以従政矣。子張曰、何謂五美。子曰、君子惠而不費、労而不怨、欲而不貪、泰而不驕、威而不猛。子張曰、何謂而不費。子曰、(2)因民之所利而利之、斯不亦惠而不費乎。擇可労而労之、(イ)又誰怨。欲仁而得仁、又焉貪。(3)君子無衆寡、無小大、無敢慢、斯不亦泰而不驕乎。君子正其衣冠、尊其*瞻視、*儼然人望而畏(ロ)之、斯不亦威而不猛乎。子張曰、何謂四悪。子曰、不教而殺謂之虐、不戒*視成謂之暴、慢令*致期謂之賊、*猶之与人也、*出納之*吝謂之*有司。

（「論語」）

解答・解説⇩別冊173ページ

*瞻視＝目つき。見た目。　儼然＝おごそかでいかめしい。　視レ成＝成果を要求する。　致レ期＝期限を切る。　猶レ之＝同じように。　出納＝出す。渡す。　吝＝惜しみ渋る。　有司＝下級の官職の名称。転じて、けちな役人根性を言う。　○従―従　尊―尊　悪―悪　惠―恵　労―労　擇―択　視―視　教―教　猶―猶　與―与

問一　傍線部(1)の部分を書き下し文に直せ。（すべて平仮名で書くこと。「如何」は「いかんス」と読む。）

問二　傍線部(2)の部分の解釈として最も適当と思うものを左の中から選び、記号で答えよ。

イ　人民が何によって利益を得ているのかを調べ、その方法で自分も利益を得る、これもまた自ら恩恵を受けることができ、しかも費用をかけずにすむ方法ではないだろうか。

ロ　人民が他人の利益になることをしたときは、その程度に応じてその者にも褒美を与える、これもまた人民に恩恵を与えることができ、しかも自分は頭を痛めずにすむ方法ではないだろうか。

ハ　人民が利益を得られる政策を優先的に実行し、その後でその利益を国に吸い上げる、これもまた国の財政を豊かにすることができて、しかも出費をふやさずにすむ方法ではないだろうか。

ニ　人民が利益を得ることができる事柄で人民に利益を得させようとする、これもまた人民に恩恵を与えることができ、しかも自らは費用をかけずにすむ方法ではないだろうか。

問三　傍線部(3)の部分の解釈として最も適当と思うものを左の中から選び、記号で答えよ。

イ　君子は仕事に取り組むに当たって、その量の多少や規模の大小にかかわらず、同じように真剣に取り組むようにする。

ロ　君子は他国と付き合うに当たって、その国の人口の多少や国土の大小にかかわらず、同じように誠意をもって付き合うようにする。

ハ　君子は人民と接するに当たって、その人数の多少や勢力の大小にかかわらず、同じように丁重に接するようにする。

ニ　君子というものは、自らの臣下の数の多少や領地の面積の大小により、傲慢になったり卑屈になったりしないものである。

問四　傍線部(イ)及び(ロ)の「之」はそれぞれ何を指すか、文中の表現を用いて答えよ。

問五　君子が政務にたずさわる上で守るべきことは何であると孔子は述べているか。文中の最も適当な箇所を選び、その始めと終わりの各二字で答えよ。

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。（但し、設問の都合で返り点・送り仮名を省いたところがある。）（北海道大）

解答・解説175ページ

＊西門豹爲ニ＊鄴ノ令ト、＊清尅潔慤、＊秋毫之端モ無キニ私利ノ也。而シテ甚ダ簡ニス左右ヲ。左右因リテ相與ニ＊比周シテ而悪レム(1)之ヲ。居ルコト＊期年、＊上レ計ヲ。君收ムニ其ノ＊璽ヲ。豹自ラ請ウテ曰ハク、臣昔ニハ者a不知所以治鄴、b今臣得矣、願ハクハ請レ璽ヲ、復タ以テ治メレ鄴ヲ、不レバ當タラ請フ伏セント＊斧鑕ノ罪ニ。＊文侯不レシテ忍ビ而復タ與フ(2)之ヲ。豹因リテ重ク＊斂シニ百姓ニ、急シリニ事ニ左右ニ。期年ニシテ上レ計ヲ。文侯迎ヘテ而拜ス(3)之ヲ。豹對ヘテ曰ハク、往年臣爲ニ君ノ治メレ鄴ヲ、而君奪フニ臣ノ璽ヲ、今臣爲ニ左右ノ治メレ鄴ヲ、而君拜スレ臣ヲ、臣不トレ能ハ治ムル矣。c遂納レ璽而去。文侯不レシテ受ケ曰ハク、寡人曩ニ不レ知ラ子ヲ、今知レリ矣、願ハクハ子勉メテ爲ニ寡人ノ治メレ(4)之ヲ。遂ニd不レ受ケ。

（「韓非子」）

＊西門豹＝人名。　鄴＝地名。　清尅潔慤（せいこくけっかく）＝清廉実直。　秋毫＝わずかなもののたとえ。　比周＝徒党を組み悪事をする。　期年＝満一年。　上計＝財産に関して報告する。　璽＝君主が臣下に与える官印。　斧鑕＝死刑に処するための刑具。　文侯＝戦国、魏の君主。　斂＝税を取り立てる。

問一　傍線部(1)～(4)の「之」は、それぞれ何を指すか。それぞれの指すものを、文中の語をもって答えよ。

問二　傍線部a「不知所以治鄴」を平仮名のみで書き下せ。

（例）學而時習之――→まなんでときにこれをならふ

問三　傍線部b「今臣得矣」とあるが、何が分かったというのか。七十五字以内で具体的に述べよ。

問四　傍線部c「遂納璽而去」を、主語を補いつつ口語訳せよ。

問五　傍線部d「不受」とあるが、文侯はなぜ受けなかったのか。五十字以内で説明せよ。